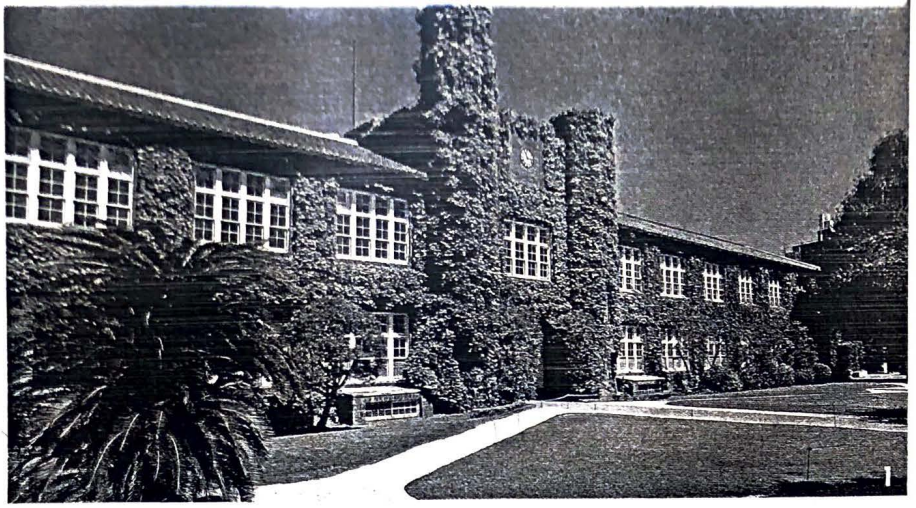
50歳以上の方限定。第二期生募集！

「ボランティア」を学び、実践する力を身につける立教セカンドステージ大学

50歳以上の方を対象に「学び直し」と「再チャレンジ」のサポートを目的として今年4月に開校した立教セカンドステージ大学。ゼミナールなどもあり、充実した「学生生活」を送ることができます。



1 池袋駅から程近い立教大学。受講生は、一般の学生と共に図書館などの施設を使用できる。
2 受講生が、必ず参加するゼミ。写真はそのひとつ「佐野ゼミ」上野原のフィールド調査の様子。
3 佐野ゼミの講義は、NPOに携わる人の話やDVD上映など実践的。誰もが意見交換ができる雰囲気。

1年間、講義と実践、ゼミナールでさらに深める

短期間ではなく、1年間カリキュラムを体系的に学ぶ立教セカンドステージ大学。大きな特徴は、受講生全員がゼミナール（ゼミ）に参加し、修了報告書を作成すること。先生と社会経験豊富な50歳以上の受講生が、一緒に授業を創っていきます。実践的で、新しい社会参加の提案となる学びの場です。

ボランティアを学びながら、自分のこれからも見つける

「NPO／NGO・ボランティア活動基礎編・応用編」の受講生は、実際にNPO活動に携わっている方から地域ボランティアに興味を持っている方まで、さまざま。受講生の「何か行動したい」という気持ちを自主的な行動につなげられるように、講義は段階的、実践的に進められます。

受講することで、ボランティアの知識と仲間、そして、今後の自分の指針のようなものも手に入れることができます。

「意欲的な方が多く、講義はファシリテーションに徹しています」という佐野先生。

立教セカンドステージ大学のカリキュラム体系

NPO/NGO・ボランティア活動基礎編と応用編などが学べる「コミュニティデザインとビジネス科目群」（10科目）の他に、立教セカンドステージ大学にはさまざまなカリキュラムが用意されています。

- ●セカンドステージの意義や取り巻く環境を主体的に捉えるための「セカンドステージ設計科目群」（10科目）。
- ●知識・経験・キャリアの再整理を促す「エイジング社会の教養科目群」（12科目）。
- ●修了報告書の指導を行う「ゼミナール」。

2009年度の募集について

- ●出願資格：2009年4月1日現在、50歳以上の男女で、高等学校卒業又はこれに準じた学力があると認められた方。
- ●選考方法：書類審査（志望理由等のエッセイ・履歴書）、及び面接試験（セカンドステージの生き方等）。
- ●選考料：1万円　●登録料：8万円
- ●受講料：25万円
- ●募集人員：70名
- ●募集期間：2009年1月上旬～1月下旬（2009年2月中旬：選考／3月上旬：合格発表）
- ●その他：受講生は図書館など立教大学の施設が利用できます。修了後は、修了証書を授与します。

立教セカンドステージ大学事務室
お問い合わせ
☎無料0800・601・1955
http://www.rikkyo.ac.jp/academics/lifelong/secondstage/
資料のご請求は、巻末の「まとめて資料請求ハガキ＆FAX」、「コレカラネット」をご利用ください。

|提供|立教セカンドステージ大学

「佐野ゼミ」受講生の方のお話

上／講義について語る山下さん。下／上野原のフィールド調査

若い先生の講義など、世代間交流も刺激に

「退職後学び直して今後の生き方を探したい」と入学してきた方が多い中、佐野先生の授業を選択した方は、さらに「卒業後何か活動したい」という方たちでした。私自身NPO活動も10年以上になりますが、ゼミでは若い人たちの活動や動向を知ることができ刺激に。世代間交流が有益で貴重な授業です。　山下由喜子

ゼミの活動を通し、NPO設立も視野に

私の住んでいる山梨県上野原市西原を中心とした地域づくり、地域の活性化について、都市から見た農山村の魅力を再発見して貰えるようゼミで提案。結果ゼミの自主活動として上野原のフィールド調査を実施しました。今後都市と農山村の交流の指針になればと思っています。　長田喜巳夫

コレカラ　2008.12月号